

# 栄区教育研究会

## 1 研究主題

「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善のもと

確かな学力・学習力を身につけ、豊かな人間性を育む教育活動の創造」

～教育課程の創造、実践の中で授業力の向上と研究交流の広がりを目指して～

## 2 研究主題について

各研究部とも新学習指導要領の資質・能力を育てていくことを重視し、「主体的・対話的で深い学びを実現する授業力の向上」を具体的なものとしていくことが大切である。

栄区においても、これまでの学習意欲の向上を図り、確かな学力を身につけていく研究成果を基盤として、課題を解決するために必要な思考力・判断力、表現力の育成とともに、主体的に学習に取り組む態度の育成を目指し、上記主題を継続し、研究を進めていく。研究がそれぞれの研究部内にとどまることのないように今年度も、これまで以上に研究部会・学校間の相互の交流を盛んにし、広く栄区全体として、質の高い研究を推進できるよう活動していく。

## 3 研究方法

- ・集合型の研究会では、参加人数を限定、複数会場で分散して実施。
- ・感染症防止の観点から終了後は消毒（消毒備品は区事務局より配付）を確実に行った。
- ・集合せずに行う方法として、書面での提案やメールによる情報共有、オンラインで実施した。

## 4 年間活動（事業）報告

(1) 理事会総会 紙面にて開催 提案の承認は電子システムにて (5月・3月)

(2) 区一斉授業研究会

○令和3年11月24日(水)・・・B研

開催時刻を変更し集合開催 映像をもとに授業研究会を開催

○令和3年11月19日(水)・・・A研

新型コロナウイルス感染症拡大のため 当日は中止、翌月に実践提案形式でまとめとした。

(2) 推進行事

- ・区音楽会 近隣ブロック校ごとの開催（映像活用） 11月～
- ・個別支援級合同学習発表会 中学校ブロックごとリモート開催 2月～
- ・区巡回図工展 10月下旬～12月上旬
- ・区巡回書写展 11月～12月
- ・区球技大会 中止

## 5 研究の成果と課題

「学びを止めない」という横浜市教育研究会の指針のもと各研究部とも実践提案や講演会など様々な活動に取り組むことができた。9月からは分散登校となり、端末の持ち帰りに伴うGIGAスクール構想に対する取組も区内で情報共有をしながら進めることができた。より効果的な活用方法については次年度の以降の課題となる。

区一斉授業研究会の開催の在り方については、様々な状況を想定し模索しながら進めた。指導案検討時においては、事前に資料を配付しメールでのやりとりを進めたり、オンラインで実施したりするなど、それぞれの研究部が主体的に進めることができた。

栄区では、すべての学校がいずれかの教科・領域の授業研究を分担し授業提供する形をとっている。研究部会を核にして、このような研究の広がりや、具体化がなされているところに、栄区小学校教育研究会の素晴らしさがある。よさを生かし新たな研究会の在り方を見つめ、進めていきたい。